

年間教授計画 2023年度 (4月～2月)

科目:患者看護論	クラス: 2年 G組 学科:医療事務科 コース:全	担当:宮下	教科書:患者看護論	授業数: 2時間/週	年間授業: 60時間
----------	---------------------------------	-------	-----------	---------------	---------------

授業概要:患者特有の心理を学び、患者の援助に効果的なコミュニケーション技法を習得する。

最終到達目標:病院実習や早期研修において、患者に対して「いたわり」の気持ちを行動化できる。

月	週	大項目	中項目	到達目標	評価方法	使用教材	授業方法		
4月	1	オリエンテーション 患者と医療	・医療従事者の心構え ・患者対応 (1) 傾聴 ・患者対応 (2) 共感	相手の話を傾聴技法を用いて聴くことができる		・患者看護論 ・プリント配布	・講義 ・ロールプレイング		
	2								
5月	3	コミュニケーション技術	・言語的, 非言語的 コミュニケーション ・援助的コミュニケーション ・カウンセリング技法 ・カウンセリング実習 (受付窓口を想定して)	受付窓口において起こり得る様々な状況を想定し、臨機応変に対応できる		・患者看護論 ・プリント配布	・講義 ・ロールプレイング		
	4								
	5								
6月	6	健康障害とこころ	・防衛機制 ・終末期患者の心理 ・患者家族の心理	防衛機制を理解し、自身の心と向き合うことができる		・患者看護論	・講義		
	7								
	8								
7月	9	患者の尊厳と生活の質	・個人の役割と生きがい ・生活の質 (QOL) ・死生観と終活 ・安楽死, 尊厳死 プレテスト	自分らしさを言葉で表現することができる	平常試験	・患者看護論	・講義 ・作文		
	10								
9月	11	前期まとめ			前期試験				
	1	老年期の患者対応	・高齢単身者と孤独死 ・高齢者の身体的特徴 ・高齢者の感情的特徴 ・日常生活動作の援助 ・高齢者への接し方 ・せん妄, 認知症の患者 ・高齢者疑似体験 (見る, 聞く, 歩く)	疑似体験を通して身体の不自由さを理解し、高齢者への接し方に役立てることができる	前期試験	・患者看護論 ・プリント配布 ・サングラス ・杖	・講義 ・実習		
	2								
	3								
4	前期試験								
10月	5	障害と援助技術	・視覚障害 ・聴覚障害 ・言語聴覚障害 ・肢体不自由 障害者の介助方法について学ぶ (実習)	無理なく安全に介助する方法を学び、危険を予測して回避する行動がとれる		・患者看護論 ・プリント配布 ・椅子 ・アイマスク	・講義 ・実習		
	6								
11月	7	災害看護	・災害の定義と種類 ・トリアージの目的と区分 ・外傷の応急手当 (実習) ・一次救命処置 (実習) ・災害時の院内体制 ・被災者の心のケア (災害ストレス, トラウマ) ・傾聴ボランティアの存在 ・被災病院への支援 ・マニュアルと防災訓練 ・東日本大震災からの学び (実例紹介)	・災害発生時に医療従事者がとるべき行動についてイメージできる ・心肺蘇生法の実習を通して、判断力と行動力を高めることができる		・患者看護論 ・プリント配布 ・傘 ・ネクタイ ・タオル ・包帯 ・三角巾 ・ペットボトル ・人形 ・AED	・講義 ・実習		
	8								
	9								
12月	10	院内感染	・伝染性, 非伝染性の違い ・病原体の種類 ・感染経路別疾患 ・院内感染 ・抗体検査と予防接種 ・感染性廃棄物の管理 ・院内感染対策 (実習) (吐しゃ物処理, 消毒) ・マスク作り (実習) ・感染症患者への対応	清潔不潔の概念を理解し、感染から自分の身を守る方法を習慣化させることができる		・プリント配布 ・バケツ ・新聞紙 ・雑巾 ・ポリ袋 ・ゴム手袋 ・エプロン ・消毒液 ・キッチンペーパー ・輪ゴム	・講義 ・実習		
	11								
1月	12	後期試験	【出題範囲】 ・4～6月の授業内容		後期試験				
	13								
2月	14								
	15								
成績評価方法	項目	期末試験	平常試験	課題提出率	課題内容	出欠状況	授業態度		
	割合	0.9	0.1						
		資格取得等							

平常試験:授業内に実施する試験 課題:実習, 演習, 宿題等 課題提出:課題の提出率 課題内容:課題の出来具合
上段の評価:評価する時期と評価方法を必ず記入